

令和4年度 第1学年 家庭科・技術（家庭分野） 年間指導計画・評価計画

月	時数	単元	観点別学習状況の評価観点			ICTの活用
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	1	ガイダンス	中学校での学習内容に興味をもち、3学年間の見通しをもととしている。			タブレット端末 デジタル教科書
	2	家族・家庭生活 ・自分の成長と家族・家庭生活	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 家庭にはさまざまな活動があること、家庭の主な機能について理解している。 自分や家族の生活は、家庭の内外の活動によって支えられていることを理解している。 家族の互いの立場や役割について理解している。 家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。 現在の自分は、家庭を支える仕事について何ができるかを考えている。 家族関係をよりよくするために、学んだことをもとに課題を解決する力を身につけている。	自分の成長は家族をはじめ、多くの人に支えられてきたことに気づき、自分が支える立場になれることを考え、実践しようとしている。 家庭生活を支える活動とそれを支える社会の仕事やしくみの学習を通して、家庭生活と社会のつながりを考え、自分のことから実践しようとしている。 家族関係をよりよくするために、家族や地域の人びとと協力する必要があると気づき、協力の方法を工夫し取り組もうとしている。	
5	3	衣食住の生活 ・目的に応じた衣服の選択	衣服の社会生活上のはたらきを理解している。 衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた衣服の着用について理解している。 衣服と社会生活（和服）について理解している。 和服と洋服の構成の違いや特徴、着方について理解している。	目的や個性を生かす着用を考え、デザイン画に工夫し記入している。	自分の似合う色を探そうとしたり、友だちに意見を聞いたりし、課題に意欲的に取り組もうとしている。 衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	タブレット端末 デジタル教科書

6	3		<p>既製服についている表示から情報を収集・整理しまとめることができる。</p> <p>既製服の表示の意味と選び方について理解している。</p> <p>回収された資源が新しい衣服として生産されることを理解している。</p>	<p>衣服の適切な選択について考え、問題や課題を解決する力をもっている。</p> <p>目的に応じた既製服の適切な選択について考え、工夫している。</p> <p>衣服の原料とリサイクルのかかわりについて考えることができる。</p>		<p>タブレット端末 デジタル教科書</p>
7	3	<p>・日常着の手入れと保管</p> <p style="text-align: center;">〈夏休み課題〉 洗濯実習</p>	<p>衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の手入れができる。</p> <p>衣服につく汚れやしみの種類と性質について理解している。</p> <p>衣服素材に適した手入れの必要性を理解している。</p> <p>取り扱い表示の意を理解して、適切な手入れ方法を選択できる。</p> <p>適切な洗濯の方法と洗剤の使用方法について理解している。</p> <p>洗濯機の安全で適切な使い方について理解している。</p> <p>補修の目的に適した方法で衣服を補修することができる。</p> <p>適切な洗濯のしかたと洗剤の使用方法について理解している。</p> <p>洗濯機の安全で適切な使い方について理解している。</p> <p>正しい洗濯の方法を理解し、実践できる。</p>	<p>衣服の材料や状態に応じた手入れについて工夫している。</p> <p>衣服を収納・保管する方法を工夫している。</p>	<p>繊維や布の状態にあった方法で日常着の手入れをすることができる。</p> <p>日常着の手入れに関心をもち、洗濯の課題に取り組もうとしている。</p> <p>実習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>衣服を収納・保管することに関心をもって家庭で実践しようとしている。</p> <p>実習に積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>タブレット端末 デジタル教科書</p>

9	4	衣食住の生活 ・生活を豊かにするものの製作 (制作実習)	布を用いたものの製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識や技術を理解している。 完成までの見通しをもち、自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。 製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣生活、住生活などの生活の工夫について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造することができる。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 製作に関心をもち、これからの製作に意欲的に取り組もうとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
10	4	(制作実習)	布や用具を正しく安全に扱い、自分で工夫しながら意欲的に製作を進めることができる。 製作に必要な材料や縫い方が理解でき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。		製作の基礎・基本の習得に主体的に取り組む、よりよい製作を実践しようとしている。 布や用具を正しく安全に扱い、自分で工夫しながら製作を進めようとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
11	4	(制作実習)	基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく適切に製作ができる。 製作に必要な材料や縫い方がりかいでき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。	製作に必要な材料や用具の選択、製作手順、目的にあった縫い方、用具の活用方法を理解し、布を用いたものの製作に関する知識を身につけている。		タブレット端末 デジタル教科書
12	4	(制作実習)	ミシンの使い方について理解し、適切に扱うことができる。 製作の手順や縫い方、必要な材料と用具の選択や安全で効果的な使い方について理解している。	自分らしい工夫や改善を加え、計画にそって作品を完成させることができる。	作品に完成後の目的意識をもって意欲的に製作に取組み、生活を工夫し創造し実践しようとしている。	タブレット端末 デジタル教科書

1	3	衣食住の生活 ・住まいの働きとこちよさ	住まいのはたらきには、機能的なはたらきと精神的なはたらきがあることを理解している。 日本の伝統的な住まいは、地域の材料を使い、気候風土に合わせたり、自然のよさを取り入れたりして工夫されていることを理解している。 住まいに必要な空間について知り、生活行為が分類できる。	自分の住まいを点検し、問題点を見つけ自分で改善できることを考えている。 家族が心地よく住むために、どんなことを工夫すればよいのか考えることができる。 和式と洋式の住まい方の違いをまとめることができる。	住まい方に対する自分なりの意見を持ち、家族がこちよく暮らせるように工夫し、実践しようとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
2	2	・安全な住まいで安心なくらし	さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを知る。 家庭内の事故の種類とその原因を理解し、安全を考えた住空間の整え方を身につけている。 室内環境を整える方法や安全に住むための対策について理解している。	幼児や高齢者の家庭内の事故の防ぎ方や安全対策を考えて工夫している	幼児や高齢者を含めた誰もが安全の暮らせる住まい方について工夫し、自分の家の安全対策で実践しようとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
3	2	・持続可能な住生活をめざして	住まいの地震対策から安全確保の方法を挙げるができる。 災害時、身を守るための準備や行動のしかたを具体的に説明できる。 持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを理解している。	地域で起こりうる自然災害を見据え、自分の家でできる安全対策を論理的に考え、具体的に方法を表現している。	自分や家族が避難したことを前提に物理的、心理的な面からより穏やかに暮らせるよう最適解を求めて追求している。 学習したことをふりかえりながら、持続可能な住生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	タブレット端末 デジタル教科書
評価の方法			授業観察、発言・発表、 家庭ノート、ワークシート 宿題、定期考査	家庭ノート、ワークシート 宿題、定期考査	家庭ノート、ワークシート 宿題、提出物（家庭ノート・ 課題プリント）	